

嵐山町施策は明日の財政を考えると

要・不要・増額・削減の見直しが不可欠です。



事業名	事業内容	本年度予算額
もうもう少年団補助金	子どもと一緒に緑を育てる活動の補助。こどもと一緒に、小千代山の保全活動も行っている。	3万2千円(町) 7万(県)
嵐山国際交流補助金	在町外国人の交流・日本語学級1週間に1度の日本語学級や、遠足などの交流の補助	3万円
クレヨンキッズ補助金	幼児とママのグループが活動する費用の補助	5万円
部落開放同盟嵐山支部補助金	上部団体負担金・研修会補助	69万円
吉田集会所管理事業	施設管理(光熱水費・清掃費・鍵管理費など)	96万5千円
人権教育推進事業	人権教育研究事業補助金、吉田集会所を主とした講座:ふれあい塾(小学生向けに教科や人権の学習・パソコン・折り紙・カルタなど) ふれあい講座(健康ダンス・カラオケ・手芸・そば打ち・探訪教室・わが身を守る講座など)	192万1千円
農構センター管理事業	施設管理(光熱水費・清掃費・浄化槽管理など)	451万9千円
吉田集会所運営委員会	吉田集会所事業を協議検討する経費	13万2千円
人権教育推進協議会運営事業	人権教育の推進を協議検討する経費	19万7千円
小川地区衛生組合じん芥処理費負担金	ごみ処理費用(焼却費・資源プラスチック・ビン・缶の処理費など)、借入金の返済等	1億6870万7千円
生ごみ処理器設置補助金	生ごみ処理器設置する家庭に費用の2分の1補助	100万円
平沢土地地区画整理組合補助金	平沢土地地区画整理を完成するための補助金	2億9800万円

- 吉田集会所は同和問題の解決を図るために社会同教育推進の場として昭和49年に建設されました。成人向けのふれあい講座と小学生対象のふれあい塾を人権教育推進事業の一つとして吉田集会所を中心に展開しています。
- 吉田集会所のH19年管理人謝礼21万6000円をH20年は4000円に減額しました。平成13~19年まで、集会所管理人をある議員が請け負っていました。請負額はH13年~17年まで月2万円、H18・19年は月1万8千円でした。違法です。地方自治法92条2項で、議員は町の事業を請け負えません。昨年1月、鍵管理を月2000円で地域の方にお問い合わせしました。議会政治倫理条例も制定したのですが、残念です。

トーク嵐山NO7
「嵐山町を施策の要・不要を考える準備をしよう」
 日時 3月27日(土)
 2時より
 場所 生き生きふれあいプラザなごみ
どんな手順か、事業の選択方法
仕分け人の選び方
日程・進め方など、
 一緒に考え、公開で嵐山町事業の要・不要・削減など見直しの事業仕分けを計画しましょう。



- 生ごみを資源化すると、焼却費を減らすことができます。
 生ごみは、家庭で堆肥化するか燃えるゴミとして処理するかです。私のおおまかな試算では生ごみを堆肥化すると焼却費用は年間2854万円も減額します。生ごみ回収と堆肥化の仕組みを作ることで、小川地区衛生組合の焼却炉も延命します。CO₂削減も進みます。